

平成18年度第2回 草加市みんなでまちづくり会議

1. 開催日時

平成18年7月31日(月)午後7時から9時まで

2. 開催場所

草加市立中央公民館 3階 第一講座室

3. 出席者の氏名

- (1) 登録員 13名(別紙)
- (2) 進行 みんなでまちづくり課課長補佐
- (3) 事務局 みんなでまちづくり課課長、みんなでまちづくり課職員 5名
- (4) 関係課 住宅・都市計画課課長、みどり公園課課長補佐、建設管理課課長補佐、
河川課課長、道路課課長

4. 会議の議題

「ふれあい通り親水緑道計画」の提案に関する市の反映結果について

「みんなでまちづくり会議を活性化するには」について

5. 公開・非公開の別

公開

6. 傍聴者

3名

7. 会議概要

(1) 開 会

進 行

- ・ 会議録署名の指定については、登録番号10の根岸定夫登録員と、登録番号23の染谷勝之登録員にお願いしたい。

(2) 議 題 「ふれあい通り新水緑道計画」の提案に関する市の反映結果について

事務局

- 今までの経緯(提案の概略)及び市からの説明 資料1参照

進 行

- ・ 提案者である瀬崎まちづくり市民会議から、ご意見を伺いたい。

提案者：瀬崎まちづくり市民会議

- ・ 今後5年間を目途に親水化としている部分は、開発事業者整備区間以外の市整備部分だけか？

事務局

- ・ 親水化については全域が対象。

提案者：瀬崎まちづくり市民会議

- ・ 4月の回答から比べると、努力が見受けられるのでありがたいと思う。
- ・ 何年かにわたって出来るだけのことは協力していただけるとのこと。当初の計画に近い形まで持っていけた。
- ・ もう一度地域に持ち帰って説明したい。

進 行

- ・ 他の登録員で、反映結果についてご意見はあるか。

登録員

- ・ 185メートルのうち130メートルは事業者が協力してボックスカルバートを入れてくれた。なぜ残りの55メートルが草加市には出来ないのか。ボックスカルバートにするには、どれくらいお金がかかるのか？
- ・ 市全体で水路が34万メートルある中で、優先順位があるのは確かであるが、これからのまちづくりは、事業者も、市民も、市も無理する形でない、一度にきれいになっていかない。
- ・ 今回の場所は、資料1・イメージのようにはないのではないか。下の写真・高砂二丁目は、ボックスカルバートが入っているのではないかと？上の写真・西町のようになるのだろうか。

関係課（河川課）

- ・ 床版の上を平らにし、タイルを張る形で、ボックスカルバートではない。
- ・ 床版も長い間には多少のたわみが生じるが、この場所については新しい床版（工場製作）で、狂いもないので、その上に表面処理をして、タイルを張った。

事務局

- ・ 金額については、ボックスカルバート仕様は2700万円と、盛り土と植栽で計3350万円。蓋掛け仕様は800万円と、植栽が200万円の計1千万円と聞いている。

登録員

- ・ 蓋掛けだと、10年も経つとガタガタになる。
- ・ 開発指導課が、開発事業者がこの整備をしてもらうのに、ものすごいエネルギーをお願いをしていると思う。事業者に一生懸命整備してもらうので、市の方も一緒に整備して、地元も喜ぶような、良い場所が出来た、という自信みたいなものを持たせるためには、市も同じ整備内容で行うべきである。

事務局

- ・ 蓋掛けについては、相当な期間保つ。
- ・ 瀬崎から提案いただいた、整備後イメージでも床版でやっている所に、通路の部分がある。
- ・ 水深が15センチ位と聞いているので、資料1・イメージのようになるのではないかと思っている。

登録員

- ・ 事業者が整備するボックスカルバートと、市で整備する蓋掛け部分はどう違うのか？
- ・ 構造上はどうなのか？

関係課（河川課）

- ・ 上を歩道の利用と考えれば大丈夫である。
- ・ 歩道用の床版は、厚さ的には、10センチ位で、鉄筋が入る。

登録員

- ・ 構造計算上、保つということであれば、ボックスカルバートにする必要がない。開発業者もやらないで済むのではないかと。
- ・ 車道にしないならやる必要はない。お金をかける必要があるのか聞きたい。

登録員

- ・ どの課がボックスカルバートにしなさいと言ったのか？それをはっきりしたい。

登録員

- ・ 当初の瀬崎の提案でのボックスカルバートを設置する意味は、道路の上に親水緑道（水を流す事）を考えていたから。

登録員

- ・ すると、全部、ボックスカルバートにしないとイケないのでは？
- ・ 同じ構造なら同じ整備でいいのでは、と思うが。

事務局

- ・ 現況の水路は整備が終わっている。それをさらに、撤去するとお金がかかる。
- ・ 現状、最低限の整備のなかで、機能上は遜色ないものができて、親水化も出来るということになる。機能的にも大きな差異はない。

関係課（河川課）

- ・ 親水化を目指して、二重投資を避ける意味では、今ある柵渠の側面及び底版を鉄筋で補強し、蓋を掛けて下げて、盛土（被り）をすれば、ボックスカルバートに近い強度を持ったものになる。

登録員

- ・ ボックスカルバートにする理由は、上が車道になる可能性があって、瀬崎まちづくり市民会議で案を作っていたと思う。
- ・ 車道とせず、構造も一緒であるならば、今発言のあった改造型で整備すると、先ほど事務局が話した、業者の8千万円が浮くのではないのか？

登録員

- ・ 瀬崎まちづくり市民会議から、提案が出てくる前に、開発指導で決まっている。我々の会議なんていらぬのではないのか。ここは何を議論する場なのか。
- ・ 本当に市民が思っていたのと、行政が考えていたのは一緒なのかという話になる。

登録員

- ・ ここは、本来なら主要生活道路だから6メートルの道路という話だった。
- ・ 現状として、みんなが使っていないのなら、遊歩道を作ったらいいのでは、と地域内で討論してきた。
- ・ 草加松戸三郷線からは既にボックスカルバートが設置されていた。ならば、これに併せて、道路としてすぐ使えるようにするためにも、ボックスカルバートにしてと考えてきた。

登録員

- ・ 業者と市民と市が、みんなで知恵を出し合って考えて作ろう、ということなので、情報を共有していないとイケない。

登録員

- ・ 一登録員としての意見は、パートナーシップが始まって間もなく、今は実績がない状態だと理解している。今後、モデルとなるようなものが出てこなければ、他の地域の励みにならない。
- ・ 地域も苦勞し、行政も議会も苦勞する。
- ・ 地域の圧力団体となつてはイケないと、話している。
- ・ 今回の回答で、蓋がけをし、5年以内に親水化を計るということなので、5年間の間に相当協議し、出来上がるまで地域にも相当負担が出てくると思うが、地域に帰って説明し、共に苦勞をしていきたいと思う。

登録員

- ・ まさに登録員の正念場であつて、今までなかったような新しい提案も出た。
- ・ 三者のパートナーシップとして、出来ない問題とは、お金か、時間か。他にそういうものを解決していくのが、このみんなでまちづくり会議の位置付けだと思う。

登録員

- ・ 次の提案に関わるが、行政、市議会と市民のパートナーシップで、お互いに力を出し合っ
て、いいまちを作ろうと思っている時に、今日の説明の仕方で、登録員の意見に答える事
務局というのは、本当に市民とパートナーシップでいいまちを作ろうという行政なのか。
- ・ この会議は、市民対行政という様なものではなく、この場でいろんな議題をいろんな立場
の人がいろんな観点で意見を出し合い、まちづくりに活かしていこうという様な会議だと
考えていた。もっと変えていかなければいけない。
- ・ 他の地域の人からも、瀬崎がここまで頑張ってきたことがわかってもらえたのか、もっと
いい考え方があると意見が出てきたことにも感謝している。

登録員

- ・ できないことを明確にし、水が流れる親水公園に向けての議論としてほしい。

登録員

- ・ 5年後に親水化を図ってくれるという内容で、近所の人に、まちづくりの人達が、頑張っ
てくれたおかげと、全面的に満足している訳ではないが、前進したと喜んでいる。

登録員

- ・ 5年後に親水化とするということだが、深さや生態系など、どこまでやるのかと考えてしま
う。何のための親水化なのかと考えてほしい。
- ・ 5年間はすぐに経ってしまうから、今から話し合っていないといけない。

事務局

- ・ 詳細については、これから地域と協議していく。

登録員

- ・ せっかくすばらしい提案をしたわけだから、できるだけ早く工事を進めて、地域の模範に
なるようにしてほしい。

進 行

- ・ みなさんの色々なご意見を伺ったが、改めて提案者の瀬崎まちづくり市民会議からご意見
をいただきたい。

提案者：瀬崎まちづくり市民会議

- ・ 色々な意見をいただいて、ありがとうございます。
- ・ ボックスカルバートの話が出たが、やはり開発業者には本来の、130メートルの整備をやっ
ていただきたい。
- ・ 工事は進んでいるし、発注もかけているだろうし、このまま進めてもらえればと思う。
- ・ 残りの55メートルは、蓋がけで整備していただいて、北側のグリーンベルトをうまく使っ
て親水をやっていけば、将来助かる。お互いに費用がかからなくて良い。

登録員

- ・ 最後に言葉じりを取って申し訳ないが、今後5年を目途にとあるが、開発事業条例からみ
ると「責務」とは、しなくてもいいという事らしい。はっきり言われた。
- ・ 「責務」とは、やるのが当たり前だと思っていた。ところが「責務」は強制権がないと言
われた。我々の常識と行政の常識は違う。

登録員

- ・ 5年間で事業着手か？5年で完成か？

事務局

- ・ 完成と考え、整備していく。

登録員

- ・ 言葉は重要なので、誰が読んでも同じ答えでなければ困る。

進 行

- ・ 提案者、登録員のみなさんのご意見をいただき、市として再説明をさせていただいた。
- ・ 今回の市の反映結果に納得がいけない方はいるか？
= 挙手なし =
- ・ 全てではないが、概ねご理解いただけた。
- ・ 引き続き、提案者である瀬崎まちづくり市民会議と市との協働のパートナーシップ、お互いの役割分担を確認した上で、進めていきたい。

議 題 「みんなでまちづくり会議を活性化するには」について

提案者：船戸 良一登録員

○ 提案者説明 資料2 参照

- ・ 今日みんなでまちづくり会議を考える会の座長として提案させていただく。
- ・ 一番大事な問題点として、運用上の問題点を挙げた。
- ・ 私たちは、大変な責務をおっている。5年後の草加市の現状を決定する、あるいは方向付けをする、といった立場の会議とすることを考えている。

進 行

- ・ 運用上の問題点として6点挙げられており、議論してもらいたい。
- ・ 会議の開催が、定例ということだと年4回で、提案された議題もなかなか進まないと思うので、臨時会議等、規則を運用しながら開催していきたいと思うが、意見はあるか。

登録員

- ・ 提案するにあたって、行政に回答をもらう、という話だった。
- ・ 提案し、回答をもらうと運用上なっているが、臨時会議を持って議論することだと、今までやってきたことを無視したルールでやっているのか、それとも今までのルールを踏まえてやっていくのか、事務局に聞きたい。

事務局

- ・ 問題点として、色々と項目が出ているが、具体的な内容になっていない。
- ・ 議論し、具体的な意見を組み立てていくと、定例的に行っているのは時間がかかってしまう。
- ・ そういう意味で、臨時会議という方法もあるので、皆さんに議論していただきたいという提案と考えていただきたい。

登録員

- ・ 登録員の提案に対して、回答するのが従来の会議のやり方だった。
- ・ 臨時会議でやるのではなく、みんなでまちづくり会議を考える会で議論することであって、みんなでまちづくり会議は何ら変わらない。考える会で決めればいい。
- ・ 私たちが提案しているのは、「みんなでまちづくり会議に関する規則」の見直しについてと考えている。ここの題名には活性化だが、見直しをしたいのが前回の意見。
- ・ この規則ではおかしい、がでていて、資料の最後に書かれているが、こういう意見が出ているということは、見直しが必要ということではないか。
- ・ 提案について見直しをするという回答がでたら、具体的にどのようにしていけば良いのかを、みんなでまちづくり会議を考える会議で、具体案を考え、次のステップにいける。

登録員

- ・ この会議で項目を検討するのではなく、「草加市みんなでまちづくり自治基本条例第26条の3項この条例の運用の監視」について提案することではなかったのか。
- ・ 見直すか、見直さないかをご返答いただき、この会議で変更する内容を検討しなくてもいいのではないか。
- ・ 検討する委員会みたいなものを作るとか、このままメンバーで検討するとか、検討するのがこの場ないし、考える会でやることであり、臨時会議でやることではない。

登録員

- ・ みんなでまちづくり会議というものは、登録員の協議の場で、市側は事務局だからとあったが、共に考える場、という位置づけが出来ればいいのかということで、問題提起された。
- ・ 一緒に話し合いが出来ていれば、もっといいものになったのではないか。

- ・ 以前、パートナーシップ条例を考えた時とイメージが違うから、規則を変えてもらいたいとしている提案である。
- ・ 市民と協働で規則を作っていただきたいと要望してきたが、庁内だけで作られたので、庁内とそれを含めた形の別組織で再考していただきたい、というのが今回の提案。

登録員

- ・ 運用の見直しのため、登録員の人も入って、行政も入る。場合によっては、議会も入る形にして考えていこう。

登録員

- ・ そういう答えを出してほしいから提案した。
- ・ 今日は、提案の場だから、回答はいらぬ。次回までに、庁内で検討し、回答していただきたい。

登録員

- ・ もう少し問題点を絞ってくださいという回答になれば、考える会議で絞り込むなどがあってもいいのではないか。

事務局

- ・ 提案書の中では、見直しをしますか、しませんかが、入っていない。
- ・ 別紙 1 を踏まえた上で、見直せるのか、見直せないのか、ということをお返答してほしいとの形で持っていきたいのか、その点を確認していただきたい。

登録員

- ・ 議題名については、考える会の最終回で、見直しをすることで、言いたい意見を出したと思っている。
- ・ この会議の中で、会議自体の変更はとも検討していけないと思う。
- ・ 提案の内容・文面は、議題にする審査を行政側で精査しているから、もうこれは変えられないのか。

事務局

- ・ 変えられると考えている。

登録員

- ・ 今の規則にこだわった形で、提案を取り扱うのか？それとも、主旨を活かした形で議論をすると行政が考えるのか、そういう回答の仕方もある。
- ・ 1 回提案が出ているので、「規則どおり」という回答もあるし、「規則もあるが、回答を議論する。その中で、別の組織を作る」という回答もあるし、「提案があったがだめ」という回答もある。そういう整理も必要。

事務局

- ・ 見直すのがどの部分で、文言もどこが見直しの必要がある、となればわかるが、条例等については、内容的に大きな問題はないと思う。

登録員

- ・ 今日きた行政（関係課）は、何のために来たのか？あれが問題ではないのか？

登録員

- ・ 事務局で話せないなら、担当課に話させればよい。事務局が全部背負ってしまうと、その分野に対しての議論ではなくなってしまう。言いたいことも半分も言えない。
- ・ 事務局は話をまとめているだけで、5 年以内にやるとは言っていないはず。どこかの担当課で言っているのだろう。
- ・ 所管に聞かなければ繋がっていかない。

- ・ 市民の話を、聞いて帰ろうと言う人が、一人もいない。

登録員

- ・ 最低限度自覚してもらわないと、ものを言っても意味がない。
- ・ 事務局が責任を負ったら、しゃべりにくくて運用が出来ない。

登録員

- ・ 市民が問題だと思ったものは、登録員としてみんなでまちづくり会議に提案できる。
- ・ 過去 5 回、登録員のやりにくさを言葉に出していったつもりだったが、伝わっていなかったのか。
- ・ 登録員に、このみんなでまちづくり会議の改造案とか変えるような責務はないはず。
- ・ 自分のまちづくりの提案をしていいはず。

登録員

- ・ 規則の見直しで提案を出すとなったはず。

事務局

- ・ そこまで今回の提案書には書いていないので、総論として問題の認識について、市としてはどう考えているのかを回答すればいいのか。

登録員

- ・ 議題提出書は回答を下さいではない。規則の文書上の解釈だと会議に提出し、会議の開催を求めます、となっている。

登録員

- ・ 今回出した文書は、運用を変えてほしいということ。その中で、運用の問題点を挙げたとして、回答をもらえば良い。

事務局

- ・ 提案内容だけではなく、登録員から発言される意見に対しても、市政に反映させ、回答するとなっているはずなので、今回もこの場で登録員からの意見も含めて、回答することになると思う。

登録員

- ・ 提案者が出したからではなく、参加した登録員の意見も入れて回答します、と規則にはなっているから、多くの登録員が見直しをしてもらえるかどうかという意味合いで、条例の監視に基づいて発言しているので、その意見を踏まえて、市側が回答するのでもいいのではないか。

事務局

- ・ 結論としては、登録員の問題意識の意見を踏まえてみて、市は見直す意志があるのか、又は、市は問題と思っていなく見直す必要はない、というような回答を、差し上げればいいのか。

進 行

- ・ この提案につきまして、次回の会議で回答させていただく。

以 上

署名登録員

署名登録員